

# 西遊記

2007(平成19)年6月14日鑑賞(東宝試写室)

★★★



## 第1章

シリーズ物がいっぱい

監督＝澤田鎌作／出演＝香取慎吾／内村光良／伊藤淳史／深津絵里／多部未華子／大倉孝二  
／水川あさみ／岸谷五朗／鹿賀丈史（東宝配給／2007年日本映画／120分）

……テレビドラマで大人気となったご存知、香取慎吾の孫悟空が劇場版となって大暴れ！ 三蔵法師一行が、両親を亀にされてしまった可憐な王女を助けて戦う妖怪は、西遊記で最も有名な金角、銀角兄弟！「魔法のひょうたん」も登場するおなじみの中国の古典を、最新のCG技術が駆使されたスクリーン上で、理屈抜きに大人も子供も楽しもう！

## やはりテレビより大スクリーンの方が……

テレビドラマ『HERO』での検事役や、『華麗なる一族』での万俣鉄平役など、どんな役でもピタリとキメるのがキムタクこと木村拓哉なら、香取慎吾のハマリ役は、何といても孫悟空。フジテレビ系列で2006年1月から3月まで11回にわたって放送された月9ドラマ『西遊記』は、毎回20%を超える視聴率を記録し大人気となったから、テレビと映画の「相互乗り入れ」が進んでいる最近の邦画界がこれを見逃すはずがない。

昨年5月のカンヌ国際映画祭における、孫悟空姿で登場した香取慎吾らによる、劇場版『西遊記』の発表は大きな話題を呼んだ。さらに今年5月のカンヌ国際映画祭では、劇場版『HERO』に主演する木村拓哉と共に香取慎吾がカンヌでさまざまなパフォーマンスをくり広げることに……。

『西遊記』のような奇想天外な物語はやはりテレビより、『ハリー・ポッター』や『パイレーツ・オブ・カリビアン』と同じような大スクリーンが似合うはず……さてその出来映えは……？

## 1 番おいしいところは後のお楽しみに……？

この劇場版『西遊記』のストーリーには、悪役の兄弟妖怪として金角大王（鹿賀丈史）、銀角大王（岸谷五朗）の2人が登場する。『西遊記』のドラマは壮大なものだが、その中で最も血沸き肉躍るとっておきが、この強大なパワーを誇る兄弟妖怪の登場するエピソード。

三蔵法師一行が立ち寄った砂漠の町はかつて緑豊かな国だったが、金角、銀角兄弟の妖術によってすべてを奪われたうえ、王と王妃は亀の姿に変えられてしまうという悲劇に襲われたわけだ。可憐な王女玲美（多部未華子）から、父と母を助けてほしい、そして町と国を奪い返してほしい、と頼まれた三蔵法師は、尻込みする孫悟空たちを尻目にそれを快諾。さてその戦いはどのように……？

これが『西遊記』の1番おいしい物語だが、実はあの人気テレビドラマでは、あえてこの部分を紹介していなかったらしい。つまり、1番おいしいところは後のお楽しみにしていたわけだ。そんな、ストーリーとしても最高におもしろく、かつスクリーン映えのする孫悟空たちと兄弟妖怪とのバトルはいかに……？

## 主演4人はおなじみの顔ぶれで……

『水戸黄門』は、日本では必ず一定の視聴率がとれるドラマだから、出演する俳優たちを適宜交代させながら何度もくり返してテレビドラマ化されている。そしてそれは『西遊記』も同じ……？

テレビドラマとして『西遊記』が最初に登場したのは、堺正章が孫悟空を、そしてあの不世出の美人女優、夏目雅子が三蔵法師を演じて大人気となった『西遊記』全26話（78年）と『西遊記Ⅱ』全26話（79～80年）。そして2回目は、『新・西遊記』として唐沢寿明と牧瀬里穂主演で放送された平成版『西遊記』（94年）。この他にも、1993年にはスペシャル版として本木雅弘、宮沢りえ主演の『西遊記』も放送されている。

したがって、香取慎吾（孫悟空）、内村光良（沙悟浄）、伊藤淳史（猪八戒）、深津絵里（三蔵法師）の主従で昨年大人気となった『西遊記』は、3代目（4代目？）。そして、この劇場版では当然その人気の延長線を狙っているため、この主従4人の俳優はそのままキープ。『踊る大捜査線』シリーズ、『海猿』（04年）、そして『アンフェア』（07年）など、テレビドラマと映画を一体化させて観客を呼び込もうとする東宝

の今年の夏休みの戦略は、さていかに……？

## 魔法のひょうたんのエピソードも……

『西遊記』の物語を1から10まですべて覚えている人は少ないだろうが、だれでもその一部分は断片的に知っているし覚えているはず……？ そして、多分多くの人の記憶に残っているのが、魔法のひょうたんのエピソード……？ これは、ひょうたんの口を相手に向けて呪文を唱えれば、あら不思議、ひょうたんの中に相手を吸入し、閉じ込めてしまうというミラクルなもの。

この魔法のひょうたんをもっているのは銀角大王。そしてその犠牲となったのが三蔵法師。三蔵法師ご一行とつかず離れずの距離感を保つ、仙人・老子（大倉孝二）やセクシーなチャイナドレスを着た謎の女ドロボー凛々（水川あさみ）の応援を得て、孫悟空が三蔵法師を救うべく敢然と魔法のひょうたんの中に突入したのは立派なもの。ところがそこは、所詮猿の浅知恵……？ どうやって脱出するのか全く考えてなかったというから、ご愛嬌……。さあ、魔法のひょうたんからの脱出に役立ったものはナニ……？

## キントウンと空駆けるバイクとの空中戦は……？

孫悟空特有の武器として有名なのは、如意棒。しかし、もう1つ空駆けるバイクで駆けぬけていく銀角を追っかけるのに格好の武器が、孫悟空のキントウン（孫悟空が雲に乗る術で使う魔法の雲）。この映画の最初のハイライトは、空駆けるバイクで逃げていく銀角とそれをキントウンに乗って追いかける孫悟空との戦闘シーン。さてその戦いぶりとその結末は……？

## 静かだが説得力のある三蔵法師の演説はさすが……

今や金角、銀角の妖術によって国全体はまっ黒な闇に覆われ、光を失ってしまうという最悪の状態に。そんな中、王の忠実な兵士たちも戦う力を失い、金角、銀角の奴隷になることもやむをえないと考えている様子。これでは、亀の姿となっている王や王妃を救い出すことも、国を解放することもできないのは当然。

そんな沈みきった国民の気持を鼓舞激励し、見事立ち上がらせることに成功したのは、三蔵法師の静かだが説得力ある演説。さすが、天竺まで経典を手に入れようと決

死の旅を続ける高僧三蔵法師だけのことはあると大いに感心。

天下分け目の参議院議員選挙が迫っている今、議員先生方はしっかりこんな演説技術を学ぶ必要があるのでは……？

### 最後の決戦は……？

民衆の決起を有力なバックとして、金角、銀角の宮殿に到達した孫悟空たち4人は、そこで大暴れ。この最後の戦闘シーンが何といてもこの映画の最大のハイライトだが、さすが金角は強い。弟の銀角を上回る戦闘能力を発揮し、一時孫悟空たちは壊滅状態に。さあ、これではむざむざ返り討ちになってしまっただけ。さて、それでいいのか？ そう自問自答したかどうか知らないが、香取慎吾孫悟空がここで示す最後の底力は……？

### 天竺への旅はエンドレス……？

普通の映画なら、金角、銀角退治が終了すれば孫悟空とお姫サマが結婚してハッピーエンドもありうるかも……。しかし16世紀後半、中国の明の時代に書かれた大河小説『西遊記』ではそうはいかない。つまり、天竺へ向けた旅はほぼエンドレスというわけだ。しかして、お姫サマ玲美と結婚する男は全く別の意外な人物だから、それにも注目を……。

せめてゆっくり滞在して、お礼として提供されるごちそう三昧を、という孫悟空たちの期待に反して、三蔵法師は直ちに天竺への旅に出発すると宣言。これには孫悟空は不満タラタラでダダをこねていたが、三蔵法師の命令は絶対的なもの。さあ一難去ってまた一難。次には、三蔵法師一行をどんな苦難が待ちうけているのだろうか……？

2007(平成19)年6月16日記